

相模原市「ロボットフレンドリー環境創出事業」
相模原市役所における配送ロボット 公募に関する質問・回答

2026年8月26日

本公募に関して寄せられた質問および現地説明会でいただいた質問について、以下のとおり回答します。

なお、現地説明会における口頭回答については、その後の確認・協議結果を踏まえて整理しているため、本書の記載を正式な回答とします。

No.	該当箇所	質問内容	回答
1	(現地説明会)	点字ブロックは、館内のどの箇所に設置されていますか。	今回想定しているロボットの走行経路上には、原則として点字ブロックはございません。 なお、本庁舎本館内を確認した範囲では、点字ブロックは主に1階出入口付近及び車いす利用者向けエレベーター前に設置されておりますが、当該エレベーターは今回ロボットが乗降する想定のエレベーターとは異なります。 点字ブロック上の走行については、ロボットの走行性能や配送物への影響、点字ブロックを利用する方への影響がないことが確認できる場合は走行可能と考えますが、必須とはしていません。必要に応じて迂回することも可能です。詳細な走行経路は、採択後に関係者間で協議の上決定します。
2	(現地説明会)	予算上限の範囲内であれば、1台だけでなく複数台での運用を提案してもよいでしょうか。	現地説明会では、予算上限額の範囲内であれば複数台での提案も可能と回答しましたが、その後の検討を踏まえ、以下のとおり訂正します。 今回の運用は1台での提案を原則とします。そのため、提案にあたっては1台で要求仕様を満たす構成をご提示ください。
3	(現地説明会)	ロボットの待機場所（充電場所）はどこを想定されていますか。	ロボットの待機場所（充電場所）は、5階の「産業支援・雇用対策課」付近のスペースを想定しています。

No.	該当箇所	質問内容	回答
4	(現地説明会)	ロボット本体の寸法・重量について、最低積載量や機体サイズの上限は設定されていますか。	実運用上の最低積載量は設定していません。 往路用収納部については、要求仕様書に記載のとおり、A4判書類を数枚程度収納した封筒を最大50通程度、かつ書類重量最大約4kgまで収納できることを基本要件としています。 復路用収納部の容量については、公募時点では固定しておらず、往路用収納部との区分、機体寸法および想定運用を踏まえた構成をご提案ください。 機体寸法および重量について、具体的な上限値は設定していません。ただし、庁舎内の通路、エレベーターおよび駐車場所で支障なく走行、巡回および待機できること、また来庁者および職員の通行を著しく妨げないことを前提とします。
5	要求仕様書 2ページ 「5. エレベーター連携」	ロボット本体に備え付けられたアームにてエレベーターのボタン操作が可能な場合、Ville-feuilleとの連携によらない方法でのエレベーター移動についても提案を行うことは可能でしょうか。	要求仕様書5、「エレベーター連携」に記載のとおり、Ville-feuilleを介したエレベーター連携を基本とします。 ただし、Ville-feuilleを介さない方式についても、代替案として提案いただくことは可能です。 その場合は、ロボットがエレベーターの呼出し、乗車、行先階への移動および降車を自律的かつ安全・確実に行えることを前提とし、当該方式の実現に必要なエレベーター設備側の改修・設定変更の有無、費用、導入工程、安全性および運用上の制約等を明示してください。 代替案については、要求仕様への適合性、実現性、安全性、費用等を踏まえて評価します。

No.	該当箇所	質問内容	回答
6	要求仕様書 2ページ 「6. 配送物の投入・収納・取出し」	往路配送物の回収は1つの引き出しにて回収する想定ですが、複数回に分けて投入される可能性がありますでしょうか。 また、複数回に分けて投入する場合、2回目以降の投入時にそれ以前に投入された資料を見ることができてしまうことは問題ないでしょうか。	往路配送物は、各階・各課から順次回収する運用を想定しているため、複数回に分けて投入されることを前提としています。 また、要求仕様書で「原則として一つの投入口」としている目的は、郵便ポストのように共通の投入口から投入できる構造とすることで、回収作業の効率化および投入の都度収納部を開閉することによるセキュリティ上のリスクを抑えることを意図しています。 既に投入された配送物について、封筒の外観等が一部確認できること自体は直ちに問題とはしませんが、投入時に既存の配送物を容易に取り出せる構造や、書類の内容を容易に確認できる構造は想定していません。
7	要求仕様書 3ページ 「7. 施錠・セキュリティ」	権限を有する職員のみが収納部を開錠できる認証方式に対応するとのことですが、特定のパスワードを知らない限り開錠できないといった仕組みでも問題ないでしょうか。 もしくは、スマートフォン上の特定のアプリケーションからの操作でしか開錠できないといった仕組みでも問題ないでしょうか。	パスワード方式については、利用者を識別し、権限を有する職員のみが解錠できる仕組みであれば問題ありません。単一の共通パスワードのみで、利用者を識別できない方式は想定していません。 また、スマートフォン上の特定アプリケーションのみで解錠する方式については、相模原市職員に業務用スマートフォンが一律に配布されている運用ではないため、基本的には想定していません。
8	要求仕様書 4ページ 「9. 操作・管理および通知」	配送時の通知方法は音声でのアナウンスでも問題ないでしょうか。 アプリへの通知が必要でしょうか。	音声によるアナウンスも通知方法の一案として想定しています。 通知機能の採否および具体的な方式については、要求仕様書に記載のとおり、費用、開発期間、執務環境への影響および職員の運用負担を踏まえ、採択後に決定します。 なお、スマートフォンアプリへの通知は必須ではありません。相模原市職員に業務用スマートフォンが一律に配布されている運用ではないため、スマートフォンアプリのみを前提とした通知方式は基本的に想定していません。
9	要求仕様書 5ページ 「12-1. 提案時に提示する事項」 4. 保守対応可能期間	契約期間は明示されていませんが、こちらは要求仕様書内に求められている保守対応期間とも整合性合わせながら、ご提案ということでよろしいでしょうか。	保守対応可能期間については、想定する保守・運用支援の内容とあわせてご提示ください。具体的な契約期間については、公募時点では定めておらず、採択後の協議により決定します。

No.	該当箇所	質問内容	回答
10	要求仕様書 6ページ 「14. 提案時に提示を求める事項」	請求及び入金時期はいつになりますでしょうか？2027年1月から先行試験開始とありますので、2026年内に開発や構築等のリソースがかかってまいります。そのため、請求及び入金もできるだけ2026年内で相談させていただきたく考えております。	基本的には、2027年3月末頃の支払いを想定しています。請求・支払時期については、提案内容や契約条件等を踏まえ、柔軟に対応する予定です。2026年内の請求・支払いを希望する場合は、その旨を提案時にご提示ください。
11	要求仕様書 5ページ 「13. 試験・導入工程」	4月からの本格運用については、最終納入形態である事が必須でしょうか？ 弊社エントリーにおいては現在保有の機体で試験運用に臨み、最終的に納入形態のAMRと入れ替えをさせていただくことを想定していますが、その時期が2027年8月前後となりそうなのですが、このような条件でのエントリーは可能でしょうか？	応募は可能です。 ただし、2027年4月から本格運用を開始できる状態であることが前提となります。 2027年4月時点の機体と最終納入形態が異なる場合は、機体を変更する目的・理由、両者の機能・性能等の相違点、4月時点での本格運用への影響、最終納入形態への移行時期、移行に伴う作業内容・費用、変更後の継続費用への影響等を明示してください。 これらを踏まえ、要求仕様への適合性および実運用への影響を含めて提案内容を評価します。
12	その他	ロボット本体について基本的に相模原市によるご購入ということでもよろしいでしょうか。リースやレンタル等ではございませんでしょうか。	ロボット本体の調達形態は、購入に限定していません。2027年4月から本格運用を開始できる状態を確保できることを前提に、購入、リース、レンタル等を含めて提案可能です。 リースまたはレンタルによる提案の場合は、2027年4月の本格運用開始までに必要となる初期導入費用と、本格運用開始後に継続して発生する費用を区分して提示してください。また、契約期間、最低利用期間その他の条件がある場合は、あわせて提示してください。 なお、購入・リース・レンタル等、複数の調達形態による提案が可能な場合は、比較検討のため、それぞれの概算費用をご提示ください。
13	その他	現地説明会にて配布いただいた1階～5階のフロアマップをデータでいただけますでしょうか。	フロアマップについては必要に応じて個別に送付します。 必要な方は、以下の事務局連絡先まで個別にご連絡ください。 事務局連絡先：rfbd_info_m@toda.co.jp